

あなたも参加できる サイクロン被災地ボランティア

スリランカに車いすと文房具を届けます!

公益財団法人日本社会福祉弘済会 / 空飛ぶ車いすを応援する会

11月下旬スリランカを襲った巨大サイクロン「ディトワ」により、各地で川の氾濫やがけ崩れが起こり、深刻な被害が出ました。政府発表（12月5日）では、被災者は230万人以上、そのうち子どもは約52万人。被災地の生活再建は時間がかかり、厳しい経済状態の同国へは継続支援が必要です。しかし、日本では報道が減り、状況が伝わりにくくなっています。

災害支援はスピードが大切です。2005年から同国に車いすを届けてきた「空飛ぶ車いす」は、緊急に12月22日に87台を輸送しました。

現地からは「まだ多くの人が車いすを必要としています」との声が届いています。

空飛ぶ車いす学校グループの工業高校生は二次、三次支援を実施します。

ディクウェラ小学校に鉛筆とノートを贈ります。

12月15日にディクウェラ小学校の校長先生から手紙が届きました。

小学校は全生徒150名です。学校があるディクウェラ村はコロンボから北へ100キロにある田舎で、多くの家庭はとても貧しいです。そのうえ洪水に見舞われ、40名の生徒の家が流されて困っています。学校の屋根も損傷しました。皆様のご支援をお願い申し上げます。

これから村を支える子どもたちには、安心して勉強や遊びができる環境が必要です。

勉強道具も流された子どもたちにとって、鉛筆は「学びの一步」です。

身近にある文房具が、ディクウェラ村の子どもたちを元気づけます。



洪水で家を流された子どもたち

★職場や友人・知人に呼びかけて、ボランティアにご参加ください。

■ボランティア要領

【文房具支援】

- 1、収集文房具 ①筆記具（ボールペン、鉛筆、クレヨン、色鉛筆、消しゴム）
②ノート（スケッチブック、メモ帳含む）

- 2、①は種類毎に「少し頑丈なジップロック」に入れて、数量を記載したメモを同封してください。

＊ジップロックは、村のお母さんたちが再利用します。

- 3、発送の際は、送付状（ボランティア名、住所、TEL を記載）を同封してください。

＊支援結果を報告します。

- 4、文房具は「着払」でお送りください。

〒304-0822 茨城県下妻市皆葉1725-1

ニシコ・ジャパン 空飛ぶ車いす TEL0296-30-0503

- 5、受付期間 2026年1月19日（月）から2月17日（火）まで

【車いす支援】

- 第一次支援 87台（12月22日 実施済み）

【第一次参加】千厩高校（岩手）、能代科学技術高校、能代市社会福祉協議会
大曲工業高校、湯沢翔北高校（秋田）新津工業高校（新潟）
掛川工業高校（静岡）、都立葛飾ろう学校、栃木工業高校
神戸市立科学技術高校、相生産業高校（兵庫）、浮羽工業高校（福岡）

- 第二次支援 100台（2月下旬）

- 第三次支援 150台（6月下旬）

【車いす、文房具受け取り団体】

サハナサラナ財団

＊財団は、児童養護施設「少年の家」施設長だった故アーリヤダーサ氏（全国社会福祉協議会アジア研修第4期生・1988年修了）が、1996年設立、1998年に政府登録した公益団体。
2005年から空飛ぶ車いすを3,500人に寄贈しています。